



プレスリリース No. 10/428
即時解禁
2010年11月12日

国際通貨基金 (IMF)
米国・ワシントン DC

ドミニク・ストロスカーン IMF 専務理事、G20 首脳によるソウル行動計画を歓迎

国際通貨基金 (IMF) のドミニク・ストロスカーン専務理事は本日、20 カ国グループ首脳が、韓国・ソウルサミットで発表した一連の行動計画を歓迎した。同アクション・プランは、世界経済の持続的な回復を支えるべく、国際的な政策枠組みの強化を図ったものである。

「世界危機の間、一貫性及び協力が G20 を形作った。これにより、世界大恐慌の再来の回避に資した、断固たる政策措置が可能となった。我々の現下の課題は、回復の維持であり、世界が必要としている成長及び雇用の創出である。我々は依然として多くがなされる必要があると認識しており、今般のソウル行動計画はこの方向に向けたステップだと言える」

ストロスカーン氏は、相互評価プロセス (MAP) を継続し、また主要な政策分野におけるコミットメントを「ソウル行動計画」を通し、各国独自に策定するとして G20 首脳による合意を歓迎した。一連の流れにおいて各国首脳は IMF に対し、予防的又は是正措置を必要とする、大規模な不均衡の特定に向けた「ガイドライン」について、他の国際組織との協力の下助言を行うよう求めた。

これらのガイドラインに基づき、IMF は対外的な持続可能性、及び世界レベルで総合的な各国の経済政策の構築に向けた進捗状況を評価することになる。ストロスカーン専務理事は、IMF のサーベイランス・マנדート、並びにシステム上重要な国々の政策の広範な影響に関する、各国に特化した新規の報告書である「波及効果レポート」などその他の制度の近代化が、一連の取り組みをサポートすることになるだろうとの見解を示した。

さらにストロスカーン氏は、ソウルにおいて G20 首脳が、不安定な資本フローをはじめとする国際通貨制度のあらゆる側面について、作業を一層推し進めるよう IMF に要請したことを明らかにした。国際金融のセーフティネットの強化がこの課題において重要な意味を持つことから、G20 は、フレキシブル・クレジットライン（FCL）の強化、並びに予防的信用枠の導入、更には共通のショックの影響を受けた複数国を支援するために、FCL を同時に実施する選択肢を提供するなど、IMF が先日行った融資制度の強化を歓迎した。

ストロスカーン氏は「我々は、地域レベルでの融資取極との協力などを通し、金融システムに影響を及ぼすショックへの対処において必要な、世界レベルでの枠組みを改善するための方策を引き続き追求する」と述べた。

ストロスカーン氏は、バーゼル III 合意など、国際的な銀行制度の抜本的な改革のため、既に多くが実施されているが「改革を完了し、また新たな金融規制の枠組みが、一段と実効的な監督機能及び破たん処理の枠組みにより確実に補完されるよう、多くがなされる必要がある」ことを強調した。この点から G20 首脳は、システム上重要な金融部門を有する国々に対する、IMF 及び世界銀行による金融セクター評価プログラム（FSAP）の義務化を歓迎した。

G20 首脳は IMF 及び他の機関に対し、過度の資本フローの影響の緩和のための制度など、マクロプルデンシャルな政策枠組みについて、作業を更に進めるよう求めた。

またストロスカーン氏は、ミレニアム開発目標達成へ協働して取り組み、その努力を補完するための、G20 のコミットメントを示した「衡平な成長のためのソウル開発コンセンサス」を歓迎した。同氏は「我々は、開発のための具体的な施策を示した、この多年に渡る行動計画をサポートする」と述べた。

最後にストロスカーン氏は、ダイナミックな新興市場及び途上国の代表権を拡大するなど、IMF が先日実施したガバナンス改革に対する、G20 の承認を歓迎した。

「G20 がソウルで確認したように、これらのクォータ（出資割当額）及びガバナンス改革は、IMF の正当性、信頼性、そして実効性を高め、国際金融の安定と、全ての加盟国の成長の促進のための機関として、IMF を一段と強力なものにするだろう」

ストロスカーン専務理事は、韓国の政府及び国民に対し、サミット開催に向けた準備と手厚い歓待に謝意を表した。